

第14回懇談会の議事概要

議事	No.	質問・意見等	委員会での回答	備考
計画	1	・田中調節池は稲戸井調節池の3倍くらいの面積があり、稲戸井よりも(治水)効果が望めることから、現在の越流堤位置を上流に設置した方が良いのではないのか。	・田中調節池については、越流堤の上流側への移設、築堤による嵩上げの計画がある。 ・予算の制約があるため、当面は稲戸井の事業を考えさせて頂きたい。	
	2	・稲戸井排水門より下流にある戸頭地区に一番近い場所をY.P.+2.8mまで掘ることで、周辺地下水に影響がでないか非常に心配である。	・地下水位のモニタリングは引き続き実施していく。	
	3	・河川敷に生えたヤナギは、大きくなったら切らざるを得ないのか。 ・あまり大きくなると問題(流水の妨げ等)が発生するため、大きくならないうちに始末したほうがよい。	・ヤナギの木を管理する予算は、現時点では与えられていない。 ・治水上の支障が出るような場合は、伐採する。	
環境	4	・猛禽類調査でフクロウは確認していないのか。 ・フクロウは、大野川の近くで県外カメラマンが調査をしている事例がある。サシバ調査と重なり、もめることがあるため、こちらも調査をしていることを話していかなくてはいけないと思う。	・フクロウは確認してない。	・平成29年度の河川水辺の国勢調査でフクロウを確認した。
	5	・植物では、全体として増えた種、減った種はあるのか。		・絶滅危惧種(Ⅱ類)が確認される。しかし、河川敷に多く見られるものばかりのため、特に留意しなくてはいけないというものではない(委員からの意見)。
利用	6	・上流側の利活用区域は地権者と交渉中と聞いているが、目標として、いつごろ、どういう形になるかを聞きたい。	・全体の90数%について用地買収しているが、点状に残っている土地がある。 ・相手のいる交渉事であるため、いつまでという具体的な断言はできない状況である。	
	7	・スポーツ施設(グラウンド)の計画立案には、1年や2年は要する。何らかの概要で良いので示して欲しい。	・改めて、説明に伺いたい。	・平成29年11月に、守谷市と打合せを実施した。 ・掘削による洪水調節容量を精査した結果、守谷市の利活用区域の掘削地盤高をY.P.+8.0mに変更した。
	8	・「市民が喜ぶに違いない」という先入観で、国交省や市がつくっても誰も来ない。民間のある程度のボランティア団体、NPO等が音頭とりをして、市民の側からの利用計画を持たないと、つくっても後に残らないだろう。 ・市では、計画を持っているか。	・今のところ、市では計画を持っていない。	
	9	・出水時には、大野川左岸の環境保全区域に水は流れ込むのか。 ・環境保全区域で、前守谷市長から「鳥の道」のようなものを整備してはどうかという意見を頂いた。	・洪水時には環境保全区域にも、水は流れ込む。 ・国交省では造れないが、守谷市により環境学習用の散策路を造る等のことは可能である。	